村教委が経緯説明

小学校再編統合地区説明会は、8月24日の鳥茂渡小学区（芦渡地区多目的集会施設・参加者14人）を皮切りに、同28日には黒崎小学区（黒崎地区公民館・同19人）、同30日に堀内小学区（堀内地区漁村センター・同26人）、9月1日には普代小学区（役場・同13人）でそれぞれ開かれました。

4学区合わせて72人の村民の皆さんが参加。深渡宏村長はそれぞれの会場で「少子化が進む中で村の児童数も減少し、小学校の再編統合は避けては通れない状況になっています。アンケート結果などから今後、4小学校を1校に統合することとしながら、来年度児童数が3人になる鳥茂渡小学校は例外とし19年4月に普代小学校に統合し、その後21年4月に向けて村内1校を目指しています」とあいさつしました。

「村にとって統合は初めてのこと。子どもたちのために皆さんと共により良い統合を考えたい」と話す熊坂伸子教育長（芦渡会場）

続いて、深渡定幸教育次長がPTA関係者などで構成される「小学校再編統合検討委員会」（金子智委員長、委員18人）からの中間意見の内容やこれまでの経緯、アンケートの集計結果、今後の取り組みなどを説明しました。

統合校は今後検討

それぞれの地区では「統合には賛成だが、統合先の小学校はどこを考えているのか。それによって考えが違ってくる」また、「統合方法（最終統合校や場所）を決めないで話しを進めるのはおかしいのではないか」。さらに「地域や個人、行政側の都合ではなく、子どものことを第1に考え、どうすることが子どもたちにとって最善なのかの理解が得られれば、どこの学校でも分かってもらえるのではないか」などの意見があり、住民の皆さんのさまざまな思いが交差しました。

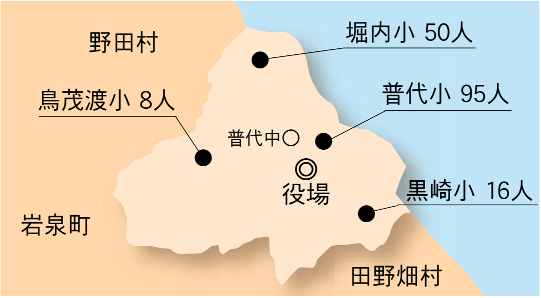
統合については、解決しなければならない問題が山積しています。特に普代小学校への統合まで6カ月を切った鳥茂渡小学校では、通常の授業や行事に加え、閉校記念式の企画や記念誌作りなどを進めなければなりません。

今後村と村教委では皆さんから出された意見を大切にしながら、各学校との連携を図り、最終統合校の場所や、どのような統合が子どもたちにとってベストであるかといった具体的な方向を示し、小学校の再編統合を進めます。

住民説明会の主な内容は次ページのとおりです。

真剣な表情で説明を聞く皆さん（堀内会場）

■村内小学校の位置と児童数（H18.9末現在）



■小学校再編統合説明会の参加者数

期日	学　区	会　場	参加者
8月24日	鳥茂渡小学区	芦渡多目的集会施設	14人
8月28日	黒崎小学区	黒崎地区公民館	19人
8月30日	堀内小学区	堀内地区漁村センター	26人
9月1日	普代小学区	役場	13人